

## 2-2. 密集市街地対策の推進

大阪府内の密集市街地で、地震時等に避難が困難となる可能性の高い「地震時等に著しく危険な密集市街地」のうち、豊中市の庄内・豊南町地区について、市と連携して都市計画道路等の公共施設の整備を進めるとともに、老朽住宅の除却促進や地域防災力の向上に向けた取り組みを行っています。

表-2.1 府内の地震時等に著しく危険な密集市街地

所在市	地区名	地区面積(概数)
大阪市	優先地区	1,333ha
堺市	新湊	54ha
豊中市	庄内	189ha
	豊南町	57ha
守口市	東部	150ha
	大日・八雲東町	63ha
門真市	門真市北部	137ha
寝屋川市	菅島東	49ha
	池田・大利	66ha
	香里	101ha
東大阪市	若江・岩田・瓜生堂	49ha
7市	11地区	2,248ha

※赤枠が管内2地区

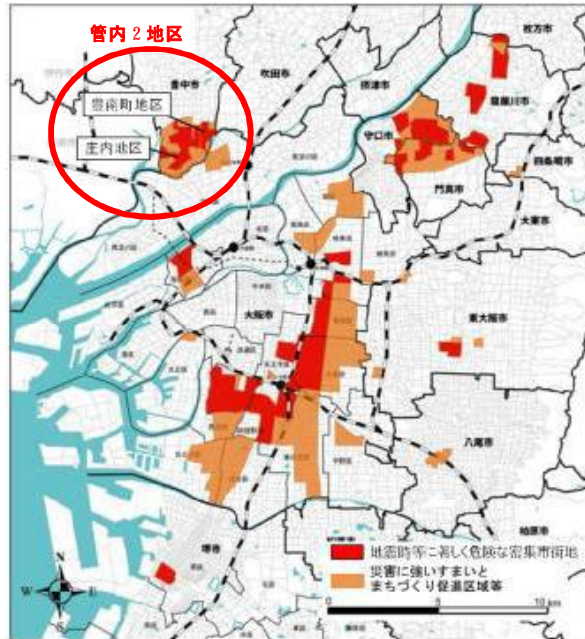


図-2.2 府内の地震時等に著しく危険な密集市街地

都市計画道路三国塚口線は、阪神淡路大震災による庄内地区の被災を契機に、国道 176 号から府道大阪池田線までの 1.1 km 区間について、平成 8 年に計画幅員を 16m から 27m へ都市計画変更しました。

交通渋滞の解消に加えて、密集市街地内で大規模火災が発生した際の延焼を防ぐ防災機能（延焼遮断帯）を併せ持つ道路として整備しています。



図-2.3 三国塚口線の概要(上段：現況、下段：計画)



写真-2.5 暫定整備区間(延焼遮断帯)の状況(右が北側)



図-2.4 密集市街地(庄内地区)と三国塚口線